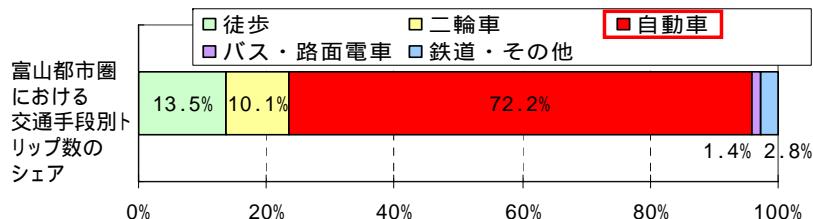


富山市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

事業概要

富山市は、過度に車に依存した交通体系となっており、少子高齢化及び地球温暖化といった社会問題をふまえ、車からLRT(Light Rail Transit)などの公共交通への転換を進めるとともに、都心居住の推進、中心市街地の活性化を図り、環境にも優しく持続可能な都市構造(コンパクトなまちづくり)を目指すもの。



富山市内一般国道415号の萩浦橋付近(H15.5撮影)

目標

平成19年度までに
対象エリアCO₂排出量を
631t-CO₂(約0.6%)削減 (H16年度比)

・富山港線の路面電車化:456t-CO₂の削減 等

